

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	麻倉で芸術に親しむ事業
事業主体 (連絡先)	麻倉 Arts&Crafts 0261-85-2139
事業区分	(3) 教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,450,729 円 (うち支援金 : 1,054,000 円)

事業内容

年間を通して多くの美術やクラフト、音楽演劇といったイベントや展覧会、ワークショップを行った。美術では6月のお顔展、街に精霊がやってきた、アンデパンダン展、早くこいこいお正月展、クラフトでは北アルプスクラフト作家展、酒器展。麻倉として麻倉全仕事展、音楽：第13回、14回麻倉音楽会、第3回、4回麻倉歌声茶会。演劇は演劇上演とワーショップ。各イベントごとに様々なワークショップを実施。



【アンデパンダン展】

【目標・ねらい】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

それぞれの美術、クラフト展示会は、約300～400名の入場者があった。特に6月のお顔展では、北アルプス芸術祭効果で2500以上の来訪者があった。ワークショップは作家によっても内容によっても異なるが約5～30名である。すべての取り組みで参加者増加とまでは行かず残念だったが、マスコミ、SNS、チラシ、噂などで麻倉というところが町にあり、いつも何か面白そうなことをやっているようだというような認識は市民の中に浸透してきたようだ。

- ①各事業5%の参加者、入場者の増加
- ②各事業内容の充実
- ③様々な世代の参加を得る

※自己評価 【 A 】

【理由】

全体として企画イベントの入場者数、ワークショップの参加者は増えた。今まで一般公募はアンデパンダン展だけだったが、2つの空間美術も一般公募にして、フリーの出展者が増えたことは大きな収穫だった。北アルプス芸術祭の折、訪れた人たちからたくさんの激励や面白い、楽しい、素晴らしいといった声をいただいた。出展者の大きな力となつたとともに、市内外、県外者の方たちにも麻倉の空間美術が認知された感がある。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

麻倉に来てみたいという潜在的な人数は増えていると思うので実際足を運んでもらう工夫をしたい。昨年取り組み始めた若い世代対象の夜のワークショップと日曜のワークショップを来年度からそれぞれ月に一回定例化をして徐々に増やしていければと考えている。

2子供の情操教育に親の関心が高いので、親子でより楽しめそうな図画工作、美術ワークショップを増やしていく。

スケジュールのチラシを年四回発行しているがより分かりやすく内容についても充実を計る。